学校だより かりやす

3月号
発行日：平成３１年３月５日

刈安小学校教育理念　「夢」（希望）　「愛」（教育愛）　「信」（信頼）

今年は去年と打って変わった暖冬で、すっかり春めいてきました。天気のいい日には、子供たちが外で遊ぶ姿も見られます。早いもので平成３０年度を締めくくる月となりました。授業日は残り１３日です。子供たちは１年間のまとめと次の学年への準備に頑張っています。保護者の皆様、地域の皆様には、今年１年、多大なるご支援ご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。



学習発表会と感謝の集い

新聞で本校のインフル０が取り上げられて程なくして、インフルエンザが流行し、学習発表会ができるかと案じましたが、２月２８日に無事行うことができました。６年生がいない１年間、５年生は最上級生としての役割を果たし、４年生以下は５年生を頼りにし、それぞれの学年に応じた成長をしました。学習発表会ではそれが随所に表れていました。

１年生は「おむすびころりん」で、２・３年生は「刈安版桃太郎」で、一人一人が学んだことやできるようになったことを披露してくれました。１～３年生は、ほとんどの児童が直前までインフルエンザで休んでいたのに、それを感じさせない演技に本当に感心しました。ＰＴＡ会長の石山さんからも、多くのセリフを話す姿に「大きい学校では真似できない」と誉めていただきました。４・５年生は、自分のことだけでなく友達の良さ・素晴らしいところも語ってくれました。関わりあって学んできたクラスの仲間を、大切に思う心が伝わってきてジ～ンとなりました。

第２部では、１２月にシグナスで披露した「倶利伽羅峠の戦い」の劇を再上演し、間近に演技を見ていただくことができました。その後、「倶利伽羅峠の戦い」の姿のままで、お世話になっている皆さんにメッセージカードとお花をお渡ししました。来場された方々は終始にこやかに見守り子供たちの演技に笑ったり答えたりしてくださいました。地域の皆様、保護者の皆様ありがとうございました。









心を育む取組



２月２日は認知症講座、２月２０日は視覚障害の方を招いて、３月４日は二胡奏者の李彩霞さんを招いての学習を行いました。認知症や視覚障害、外国の音楽や考え方に触れ、自分の世界を広げ豊かな心を育んでほしいと願ってのことです。子供たちは素直な心で学び、いろいろなことを心に留めていました。感想を紹介します。

・・・びっくりすることばっかりでした。印象に残っているのはシャンプーとリンスの違いを見極めるということです。…普段使っている物なのに今日初めて気づきました。…道を歩いているときに、怖い体験をしたといっていました。足元は杖、青信号を渡るときは音で渡る・・・でも顔の前にあるものは分からないと言っていました。だから、点字ブロックに物を置いたりしてはいけないということを改めて分かりました。…目の不自由な方には声かけなどをして助けてあげることが重要だと分かりました。まだ、そういう人に出会ったことはありませんが、もし見かけたら、今日習ったことを使って助けてあげたいです。家でも点字があるか等を確認したいです。

